

2025年1月16日

株式会社パスコ

(報道資料)

パスコが先進レーダ衛星のデータ・サービス事業者として選定される - 「だいち4号」(ALOS-4)観測データ活用に向けたサービスを推進 -

株式会社パスコ(本社:東京都目黒区、以下「パスコ」)は、このたび、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)から、先進レーダ衛星「だいち4号」(以下「ALOS-4」)のデータ・サービス事業者として選定されました。今回の事業者選定により、専用サイト(以下「プラットフォーム」)での衛星画像データ提供やその活用のためのサービス流通を担います。

パスコは現在、陸域観測技術衛星2号「だいち2号」(以下「ALOS-2」)データの提供を行っており、ALOS-2・ALOS-4の双方のデータを提供する唯一の事業者となります。

パスコが運営するALOS専用サイト: <https://alos-pasco.com/>

衛星画像データは、プラットフォームを通じた提供・販売を予定しています。販売時期などの詳細は決まり次第、ご案内させていただきます。

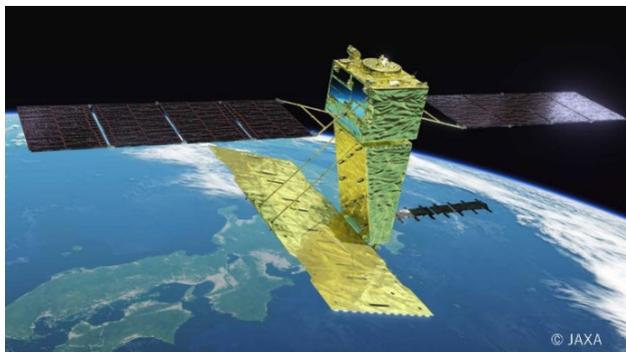
なお、本事業に関しては、一般財団法人リモート・センシング技術センター(RESTEC)、株式会社Tellusと共に進めていきます。

■ALOS-4について

ALOS-2の後継機として、2024年7月に打ち上げられた合成開口レーダ(SAR)衛星です。

日本が長年培ってきたLバンドSARの強みである地殻・地盤変動などの観測がさらに進化しています。空間分解能(3m)を維持しつつ観測幅が4倍(200km)に拡大され、高精度な変動監視が可能となります。

ALOS-2のミッションである、全天候型の災害観測、森林管理、海洋状況把握などを継続し、より高度な活用を図るとともに、インフラ老朽化対策などを通じて、国土強靱化に貢献することを目的としています。



■パスコの衛星事業

パスコは、2005年から地球観測衛星の利活用を促進するビジネスに参画して以降、国内外の人工衛星の運用・データ流通・加工/解析・ソリューション開発・提供などを行い、社会の課題解決に努めています。今後も、これまで培ってきた経験をもとに、国内外のデータ解析事業者や先駆的利用者とも連携をとりながら、データ活用の普及促進に向けた事業展開を進めてまいります。

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社パスコ

(報道機関)

(お客様)

広報部

衛星事業部

<https://www.pasco.co.jp/>

press@pasco.co.jp

info@alos-pasco.com